

予測型行動がいのちを救う

学び、備え、行動する

—— 赤十字がいま提唱するアクションの意味とは

*Lessons
Learned
&
Anticipatory
Action*

災害救護研究所セミナー

2025 **3.1** | 土 | 14:00 - 16:00

参加費
無料

開催形式 ZOOM (オンライン開催)

お申込みは
こちらの二次元コードまたは
災害救護研究所ホームページより
お申込みください



学校法人 日本赤十字学園
日本赤十字看護大学附属
災害救護研究所

JAPANESE RED CROSS COLLEGE OF NURSING
DISASTER MANAGEMENT RESEARCH INSTITUTE

所在地 東京都渋谷区広尾4-1-3
電話 03-3409-0684(直通)
MAIL jrcdri-jimu@redcross.ac.jp

災害救護研究所

検索

写真提供: 日本赤十字社(令和6年能登半島地震)



北海道胆振東部地震 段ボールベッドを組み立てる赤十字職員



自治会で実施された赤十字防災セミナー(災害図上訓練:DIG)の様子



令和6年能登半島地震 被災者に寄り添う赤十字職員

我々は過去の災害から様々な学びを得て、災害への備えを強化してきました。

2024年10月、赤十字・赤新月国際会議において、

「予測型行動 Anticipatory action」の強化に向けた決議が採択されました。

今、個人、コミュニティ、組織において学びから得た先見的行動が求められています。

プログラム

開会の辞 富田 博樹 (災害救護研究所 所長、学校法人日本赤十字学園 理事長)

挨拶 清家 篤 (日本赤十字社 社長)

第一部 パネルディスカッション

「予測型行動がいのちを救う」Lessons learned & Anticipatory action ~学び、備え、行動する~

座長 植田 信策 (災害救護研究所 被災者生活支援部門長)

パネリスト 中村 秀徳 (災害救護研究所 災害ボランティア部門 専任研究員)

近藤 久禎 (DMAT事務局 次長)

富樫 純治 (日本赤十字社石川県支部 事業推進課長)

第二部 部門研究発表

座長 丸山 嘉一 (災害救護研究所 情報企画連携室長)

① 森光 玲雄 (災害救護研究所 心理社会的支援部門長)

「コロナパンデミック下における心理社会的支援の教訓活用:実践と研究の両面から」

② 白土 直樹 (災害救護研究所 防災減災部門長)

「過去の災害経験に基づく地域の防災・減災普及の在り方について」

講評 鈴木 俊彦 (日本赤十字社 副社長)

閉会の辞 守田 美奈子 (日本赤十字看護大学 学長)

参加方法

下記の申込フォームURL、または二次元コードからお申込みください。

<https://ws.formzu.net/sfgen/S80485809/>

災害救護研究所

検索



セミナーは、Zoomを使用して配信いたします。

視聴用のURLは、お申込みをされた方の登録いただきましたメールアドレス宛に配信します。

受信設定をされている方はpostman@formzu.comが受信できるように設定をお願いします。

当日申込可能